

**お知らせ**  
 3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を受け、掲載された行事・講座等の内容が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

# まちだの教育

2011年  
 3月21日  
 No. 78



携帯電話用  
 QRコード

発行:町田市 編集:学校教育部 教育総務課 ☎194-0022 町田市森野1-33-10 MACHIDA TEL 042-722-3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

本町田中学校は本年3月をもって閉校いたします。36年間、本町田地域の中学校教育の拠点として伝統を築いてきましたが、その歴史に幕を下ろすことになりました。

本町田中学校は1975年4月、町田第三中学校に併設された仮校舎にて開校しました。初代校長に三島愛啓先生をお迎えし、全校生徒数は450名、教職員数20名でのスタートでした。同年10月には、現在地において開校式が行われました。翌1976年1月、教育目標・校章・校旗が制定され、校歌の発表会も開かれました。その後、学校の規模は年ごとに大きくなり、1984年度には全校学級数31学級、生徒数は1317名と都内でも有数の大規模校になりました。翌年には現在の特別支援学級が開設され、さらに規模は大きくな



11代校長  
 板垣 仁

## 思い出は未来へと続く

ていきました。

しかし、1991年度頃より、地域の少子化傾向等から徐々に生徒数は減少し、1995年度には全校生徒数が481名と500名を割りこみました。その後も生徒数は減少し続け、2008年度には157名、2009年度には92名と市内最小規模の中学校となっていました。そのような状況を受け、教育委員会及び関係者の方々により本校の存続について検討が行われた結果、今後の生徒数増加は望めないとの結論に達し、このたび正式に閉校することとなりました。以上が開校から閉校に至る経緯です。

生徒数が減少する中、2009年度には町田市研究推進校として「認め励まし、一人一人の良さを生かす教育の推進」特別支援教育の考えに基づく指導方法の工夫と改善」という主題で研究発表会を行いました。

今年度は2年生1名、3年生28名、特別支援学級9名と全校生徒は38名の小さな学校となりましたが、小規模校の

36年間ありがとう さようなら

本町田中学校

閉校にあたって

町田市立大戸・武蔵岡  
 合同校舎型小中一貫校

～いよいよ2011年度から  
 改修工事が始まります～

特性を生かし、少人数指導や複数指導、モジュール学習など個に応じたきめ細かい学習指導を徹底しました。また全教員の輪番制による全校道徳授業、福祉体験、花づくり・野菜づくり活動、保護者や地域の方々の参加による行事などを通して、協働性や社会性を育む心の教育を実践してきました。

学校は今年度で閉校となりますが、本町田中学校の思い出は、在校生や教職員、卒業生の心の中でいつまでも生き続けていくことでしょう。

小規模化が著しい本町田中学校は、「学校適正規模適正配置事業実施計画（1999年3月策定）」に基づき、本年3月31日をもって長い歴史に幕を閉じることになりました。

閉校にあたり、最後の学校長にこれまでの学校を振り返っていただきました。



教育委員会では、大戸小学校及び武蔵岡中学校を合同校舎型小中一貫校とするため、2012年4月開校を目指して現在準備を進めているところです。

いよいよ来年度から校舎内等の改修工事が始まります。普通教室、特別教室の間仕切り等の改修、空調機設置、トイレの改修、屋上の防水、外壁塗装など大戸小学校を中心に改修工事を行います。地域の方々にはご迷惑をお掛けしますが、学校運営に支障がないよう工事を進めていき、教育活動面においても両校教職

連載

## 町田市の文化財をご存知ですか

第3回 木曾中学校遺跡のクルミ形縄文土器

この土器は、1981年の木曾中学校建設に伴う発掘調査で出土しました。埋まっていたのは、現校舎の真下約1.5mで発見された縄文時代中期（約5000年前）の竪穴住居の中でした。クルミを半割りにした形を土器に採用した全国でも珍しいものです。正面の目鼻を思わせる造りも含め、当時の主食であった木の実に対する縄文人の切実な思いが感じられます。自然の恵みに対する感謝と豊穣祈願を目的に作成、使用されたのでしょうか。下記施設で実物を展示していますので、是非ご覧下さい。

**町田市考古資料室**  
 所 在：下小山田町4016  
 開室日：第2・4土・日曜、祝日  
 （7・8月は毎土・日曜、祝日）の10～16時  
 案 内：町田バスセンターからバスで  
 市立室内プール下車、徒歩10分  
 電 話：797・9661

▲クルミ形土器  
 直径22cm、高さ8.5cm  
 縄文時代中期（約5000年前）

員が連携しながら取り組みを進めています。

なお、小中一貫校としての学校名については、秋頃に決定しご報告する予定です。

今後、学校、保護者、地域の方々にご理解ご協力をいただきながら、開校に向けて準備を進めていきます。

アサヒビル株式会社から大戸小学校に太陽光発電設備（10kw）が寄贈され、3月7日に贈呈式が行われました。これは同社が売上の一部を活用して、自然や環境などの保護・保全活動を支援するプロジェクトの一環で、大戸小学校が取り組んできた環境教育が評価され選ばれたものです。太陽エネルギーを有効活用することで、児童への環境教育の推進、教員や来校者に対して、地球温暖化防止の啓発を進めていくことを目的としています。

**お見舞い**

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

**お願い**

東京電力の設備が大きな被害を受けたことにより、今後、電気の供給力が不足する恐れがあります。市民の皆さまにおかれましては、徹底した節電にご理解ご協力をお願いいたします。